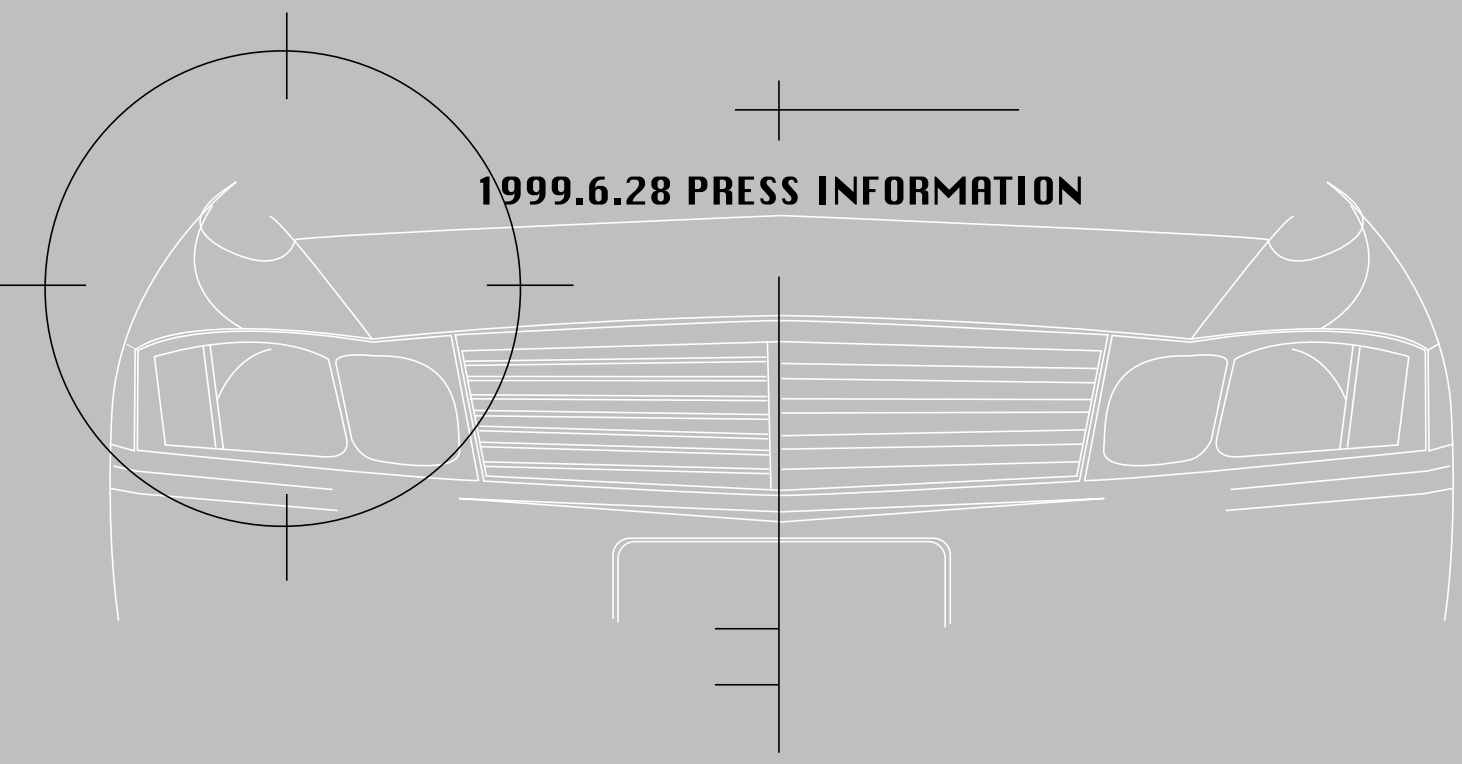
Cedric
Gloria



1999.6.28 PRESS INFORMATION

NISSAN

CONTENTS

はじめに	3
デザインの革新	6
・エクステリア	7
・インテリア	11
気力が充ちてくる走り	12
・エンジン＆ドライブトレーン	13
・ボディ／シャシー	16
やすらぎをもたらすキャビン	19
・静粛性	20
・室内空間	21
・情報化	24
最高水準の環境対応と安全性	27
・環境	28
・安全	29
主要諸元／2面図	31

はじめに

「セドリック」「グロリア」は、日本を代表する高級サルーンとして、多くの人々に愛され続け、 40周年の節目を迎えることになりました。私たちは、記念すべきモデルとなる、新型「セドリック」「グロリア」の開発にあたり、新たな時代に向けて、デザイン、性能はもちろん、ブランドとしてのあるべき姿についても、さまざまな検討を重ねて参りました。

高級車に求められるもの。それは単に合理的に作られた、移動手段としての道具ではなく、「持つよろこびがあること」「人生をより豊かにしてくれること」だと考えます。

お客様の心に明るい未来を感じさせながら、心にしっとりと触れ合い、心を充たしていくことの出来るクルマこそ、私たちが造りたい高級車です。そのためには、期待を上回る感動のデザイン・性能を備えていることが必要であり、耳にするだけで、信頼が沸き上がるブランドイメージが不可欠となるのです。

「セドリック」「グロリア」は「自ら運転を愉しむ高級車＝パーソナルサルーン」です。豪華さ、ステータス性などを重視する他の高級車と一線を画し、走行性能やデザインなどにこだわったパーソナルなクルマづくりが身上です。また、伝統に安住せず、常に新しい提案を目指し、果敢に先進性を追い求める姿勢を貫きます。

その上で、ブランドイメージをより強化していくためには、ブランドと個性を緊密に結びつけていくことが必要です。私たちは、従来の「ブロアム」「グランツーリスモ」シリーズの両方を包含する高い魅力を備えた「セドリック」「グロリア」を作り上げることで、「１ブランド１モデル」を徹底させることにしました。

さらに、「セドリック」「グロリア」それぞれのブランドイメージを一層強固なものとするために、「セドリック」はノーブル、「グロリア」はダイナミックという、それぞれが培ってきた個性を際立たせ、新たな魅力を与えることにしたのです。

この方向性を明確に打ち出したうえで、新型「セドリック」「グロリア」の開発が始まりました。

商品コンセプトは、

「見るたびに乗るたびに新しい感動がある新世代高級パーソナルサルーン」です。

個性的で圧倒的な存在感を持つスタイリング。
次第に気力が充ちてくる上質で滑らかな走り。
乗る人にやすらぎをもたらす室内空間。
最高水準の環境対応と安全性。

移動する時間も人生の大切なひとこまであり、リラックスの段階から、さらにマインドアップやリチャージといった言葉で表される、乗る人の心がエネルギーで充たされてくる、そういう至福のひとときを味わっていただきたいという思いから、デザイン、空間、性能など、すべてを高い次元で融合させ、磨き上げていくこと、そして、基本であるが、だからこそ重要な環境・安全への限りない配慮、先進技術を惜しみなく投入することで、ユーザーの心に感動を沸き上がらせたいという、私たちが思い描いた夢が、現実のものとなっていったのです。

見るたびに乗るたびに新しい感動がある新世代高級パーソナルサルーン

■デザインの革新

私は以前から、理想の「セドリック」「グロリア」をつくり上げるために最も重要なファクターとなるのは、見る人すべての目を奪うようなデザインを確立することであると信じてきました。ここ数年来、発表されている高級車のデザインは、それぞれに洗練されており、ブラッシュアップの成果を感じさせるものですが、他を圧倒するような存在感を放つデザインの高級車があっただろうかと振り返ったときに、残念ながらすぐに思い浮かぶ車名がないことに気付いたのです。

「高級車のデザインはこうあるべき」という硬直化した概念にとらわれることなく、大胆な開発を行うため、私たちは、「デザインの革新」を合言葉に、思い切った自由な発想による“世代を飛び越えた斬新なデザイン”を実現することを目標に定めました。

新型「セドリック」「グロリア」の、見るたびに新しい印象を与える美しい面表情は「クルマを持つよろこび」をいつまでも持ち続けていただけるものです。また、パーソナルサルーンにふさわしい、個性的で走りのイメージを感じさせる塊感は、これまでの高級車にはない圧倒的な風格とポテンシャルの高さを一見して感じていただけるものとなっています。

それは単なる華飾や小手先の技術ではなく、このクルマが本来持っている上質な個性をしっかりとカタチにし、未来に向けたパーソナルサルーンのあるべき姿を明快に表現しているからにほかならないのです。

■気力が充ちてくる走り

「セドリック」「グロリア」は、大人のための上質なパーソナルサルーンです。力強い加速の中に身を委ねるような、刺激的な昂揚感を演出するクルマではありません。

やすらぎやゆとりといった余裕の中にもクルマとの対話を楽しむ、成熟した深い走りの魅力を知っている方々を満足させるクルマであるべきなのです。

走行性能の開発にあたり、私たちはまず乗り味がどこまでもなめらかで、フラットであること。そして心地よさの中に自らの意志や気力が充ちてくる、まさに上質な大人の走りを実現することを目標に掲げました

さらに、次の世代に向けて進むべき方向性を見据えた上で、排出ガスを大幅に清浄化しながら充分な動力性能を持たせた直噴エンジンと、高剛性ボディや新開発のサスペンションなど車体の基礎から新設計した「新世代LLクラスプラットフォーム」を採用し、しなやかな走りを実現するなど、上質な走りを支えるトータルな性能の向上に惜しみなく力を傾けました。

無限の広がりを感じさせるどこまでも滑らかな走りとしなやかな乗り心地は、「セドリック」「グロリア」の目指す、新しい走りを具現化した、高い完成度と自負しております。

■やすらぎをもたらすキャビン

私たちが今回の「セドリック」「グロリア」の開発で目指したものは、パーソナルサルーンの新しい可能性を社会に向けて発信していくことでした。そのためにデザイン、走行性能に他の高級車とは一線を画す個性を与えましたが、国内はもちろん世界の高級車の中にあっても対等以上に渡り合うためには、ドライバーに次のステージに向けて新しい意欲を湧き上がらせるためのやすらぎを感じてもらうことも重要です。

そのためのヒントを私たちは室内における静粛性、心地よさ、そして情報化に対するアプローチといった部分に見い出し、それぞれの目標値を世界最高レベルに設定しました。

ドアを閉じた瞬間から訪れる群を抜いた静粛性は、革新的向上を目指した開発の成果です。

また、「乗ってから、座って、降りるまでストレスを感じさせない」ことを目標に細部に至るまで室内空間について検討を行い、心地よさを肌で感じるゆとりの室内空間を実現しました。

さらに、今後の高度情報通信化時代に対応するべく、情報化に対するアプローチにも積極的に取り組みました。トータルインフォメーションディスプレイは、情報の視認性向上を図るための1アイテムではなく、ドライバーとクルマとのコミュニケーションを、ディスプレイを用いてより深めていこうという次の時代への期待と可能性の提案でもあります。

■最高水準の環境対応と安全性

ここまで述べてきたように、私たちは新型「セドリック」「グロリア」の開発を通して日産が描く次世代の高級サルーンのあり方を社会に提案していきたいと考えます。そしてその真価が問われるのは、ある意味でデザインや走行性能以上に、環境への配慮と高い安全性への対応であると言えるかもしれません。

地球環境への配慮に関しても、VQエンジン搭載全車を平成12年排出ガス規制に適合させ、排出ガスをよりクリーンにしたことをはじめとし、環境に対する多面的な取り組みを積極的に行いました。

環境保全という地球単位で取り組まなければならない大きな問題の中で、このクラスのクルマづくりにかかる使命の重さは身にしみて感じるところです。その意味からも「セドリック」「グロリア」には、環境にやさしいクルマづくりの指針となるべく、これからのクルマづくりに求められる社会のニーズに率先して対応するための技術を惜しみなく投入したのです。

また、「セドリック」「グロリア」に限らず、あらゆるクルマにおいて万全の安全性への取り組みが図られていることは、もはや当然のことで、ことさら声を大にしてその優越性を唱えるまでもないとお考えの方も多いでしょう。しかしながら私たちは、そのクルマが持つ魅力ある個性も、やはり高い安全性が保証されてはじめて輝きを発するものであると考えます。そしてまた、安全性も進化を続けます。今回の「セドリック」「グロリア」に採用した「新世代LLクラスプラットフォーム」は、走行性能だけでなくクルマのトータルな安全性を高めるために最適な車体構造を解析し、具現化することで安全性を基礎から大幅に向上したと言うことができます。

見るたびに乗るたびに新しい感動がある新世代高級パーソナルサルーン。
お客様には未来への希望、何か新しい良いことが起こりそうな
うれしい予感を抱きながら、今までよりも、行動や人格、
感動のスケールが大きくなっていく実感を持ち、深く味わいのある
充実した生活を創造していただけるものと確信しております。

日産自動車株式会社
第一商品開発室
商品主管　谷野　幹男

谷野幹男

エクステリア

磨き抜かれた気品が漂う比類なき美しさ

「セドリック」「グロリア」 のスタイリングに表現したもの。

それは、周囲の視線を釘付けにしながら悠然と突き進む圧倒的なスケール、大気を切り開くような伸びやかなフォルム、そして凛とした風格の中に漂う高級パーソナルサルーンとしての知性と信頼感です。 奢侈なデコレーションを施すことなく、上質さをさりげなく表現したことで、気品に満ちた比類のない美しさが生まれました。

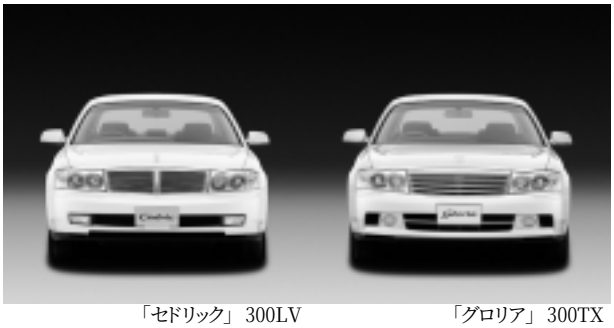
●風格を物語るフロントビュー

フロントマスクは高級サルーンとしての量感、塊感を表現しました。

ヘッドランプとエンジンフードの一体化を図り、エッジの効いたソリッドな面構成を実現するとともに、バンパーとボディも一体化し、より重厚なイメージもつくりだしています。

「セドリック」は、微妙な陰影の変化によって多彩に表情を変えるフロントマスクが、上質さの中に自然に溶け込んだ斬新な発想を表現。 車全体から放たれるボリューム感は壮観です。

「グロリア」は、堂々と張りだし、ソリッド感を表現したラジエーターグリルがボディと一体となって、ダイナミックな躍動感を演出し、上質さとスポーティ感の融合を巧みに表現しています。



「セドリック」 300LV　　「グロリア」 300TX

●逞しい足回りとボディラインの美しさが際立つサイドビュー

船の竜骨をイメージした逞しい骨格が、全体のワイド感を主張しています。また、ホイールオープニングは足元の踏ん張り感を強くアピールします。 さらに、ボディサイドをなめらかに流れるラインとソリッドな面構成が、美しいシルエットを織りなします。

「セドリック」 300LV

「グロリア」300TX＜オプション装着車＞

●格調の高さを感じさせるリヤビュー

テールエンドは、ヨットのリヤ部であるスターンの切り断ちをイメージし、しなやかでシャープなフォルムをつくりだしました。個性を強く主張するモダンなデザインながら、そのテイストには伝統車らしいステイタスと落ち着きのあるエレガントな雰囲気を醸し出しています。

今回「グロリア」に採用した新開発のLED式リヤコンビランプは、鮮やかな発光が特長で、よりスポーティな印象を演出しています。

「セドリック」 300LV　　「グロリア」 300TX

Cedric

「セドリック」 300LV

「セドリック」 300VIP

Gloria

「グロリア」 300TX ＜オプション装着車＞

「グロリア」 300TX ＜オプション装着車＞

●エンブレム＆フードオーナメント

車名エンブレムは、エクステリアからイメージされる躍動感を、流れるようなスクリプト書体によって表現しました。

フードオーナメントについては、伝統ある「セドリック」「グロリア」のステイタスを、明快なカタチとして表現するため、より立体的で塊感のあるものに仕上げています。

●気品と機能美が一体化したアルミロードホイール

アルミロードホイールは、先進のパーソナルサルーンのイメージを感じさせる気品と機能美をあわせ持つ仕様です。

「セドリック」の16インチアルミロードホイールは、先進性のある硬質で鋭角的な17本構成のスポークを採用しました。

「グロリア」の16インチアルミロードホイールは、よりスポーティさを演出した立体的で奥行きのある7本スポークで構成しました。

さらに、「セドリック」「グロリア」に設定の17インチアルミロードホイールは、よりワイド感を強調したシンプルな5本スポークを採用しています。

「セドリック」
205/60R16 92Hラジアルタイヤ&
16インチアルミロードホイール

「グロリア」
215/55R16 92Vラジアルタイヤ&
16インチアルミロードホイール

「セドリック」「グロリア」
215/50R17 91Vラジアルタイヤ&
17インチアルミロードホイール

●ボディカラー

ボディカラーは、高級サルーンにふさわしい上質な印象のある7色を用意し、その中で4種類の新色を設定しました。

ハイライトにうっすらとゴールドを感じる上質さと華やかさを兼ね備えたホワイトパール、硬質でスポーティなパープリッシュシルバー、車格感のあるミストシルバー、より深みと透明感を持ったフォーマルな印象のダークブルーなど、いずれも質感の高いカラーバリエーションです。

■ボディカラー&インテリアカラー

ボディカラー ＼ 内装色		セドリック W	セドリック K	グロリア K	グロリア W
ホワイトパール（3TP）	#QV3*	●	●	●	●
プラチナシルバー（M）	#KLO	●	●	●	●
パープリッシュシルバー（M）	#KV4	●		●	
ミストシルバー（M）	#KWO	●		●	
ダークブルー（P）	#BW5		●	●	
ダークグレー（P）	#KP1		●	●	
ブラック	#KH3		●	●	

＊特別塗装色。3TPは3コートチタンパール、Mはメタリック、Pはパールの略。
内装色は、W：ウォームグレー、K：ブルーイッシュグレー。

■設定車種一覧

■「セドリック」

エンジン ＼ 駆動	VQ30DET (NEO) 「LEV平成12年規制適合」 280PS/6000rpm 39.5kgm/3600rpm	VQ30DD (NEO Di) 「LEV平成12年規制適合」 240PS/6400rpm 31.5kgm/3600rpm	VQ25DD (NEO Di) 「LEV平成12年規制適合」 210PS/6400rpm 27.0kgm/4400rpm	RB25DET (NEOストレート6ターボ) 260PS/6400rpm 33.0kgm/2800rpm
グレード	2WD	2WD	2WD	4WD
300VIP	○			
300LX	○			
Sパッケージ	○			
300LV		○		
Sパッケージ		○		
250LV			○	
250L			○	
250LV FOUR				○
250L FOUR				○

計9車種（Sパッケージ含む）

■「グロリア」

エンジン ＼ 駆動	VQ30DET (NEO) 「LEV平成12年規制適合」 280PS/6000rpm 39.5kgm/3600rpm	VQ30DD (NEO Di) 「LEV平成12年規制適合」 240PS/6400rpm 31.5kgm/3600rpm	VQ25DD (NEO Di) 「LEV平成12年規制適合」 210PS/6400rpm 27.0kgm/4400rpm	RB25DET (NEOストレート6ターボ) 260PS/6400rpm 33.0kgm/2800rpm
グレード	2WD	2WD	2WD	4WD
300ULTIMA	○			
Vパッケージ	○			
Eパッケージ	○			
300TX		○		
Eパッケージ		○		
250TX			○	
250T			○	
250TX FOUR				○
250T FOUR				○

計9車種（Vパッケージ、Eパッケージ含む）

＊ミッションは、「セドリック」「グロリア」ともに、すべてE-ATx（フルレンジ電子制御4速オートマチック）。

機能性とエレガントな雰囲気のベストマッチング

徹底した人間工学的考察から生まれた理想的な操作、視認系のレイアウトを大海の広がりをイメージした伸びやかなフォルムと上質な素材表現でコーディネート しています。 優れた機能性がもたらす安心感とやすらぎのデザイン空間が融合しました。

「セドリック」 300LV

●心地よい開放感を与えるインストルメントパネル

インストルメントパネルは、ゆったりとした曲面構成を用いることによって、居心地のよさと安心感を演出しています。また、左右への伸びやかな広がりが、抜群の開放感を生み、乗る人に爽快なイメージを抱かせます。

●上質さとやすらぎを演出したシート

シートデザインは、高級パーソナルサルーンとしての格調の高さと気品の良さを表現しました。「セドリック」は、縦基調のパターンで広がりのある豊かな開放感を、「グロリア」では、横基調のパターンでスポーティなホールド感を表現しています。

「セドリック」 300LV

「グロリア」 300TX

●インテリアカラー

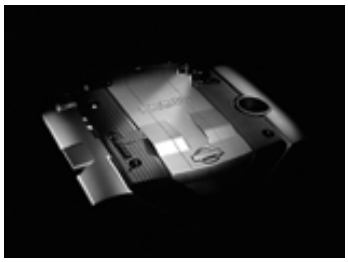
インテリアカラーは、新鮮な明るさと落ち着きを 兼ね備えたウォームグレー（W色）と、シャープで躍動感のあるブルーイッシュグレー（K色）を設定し、それぞれに専用の木目をあしらえ、豊かで上質な空間を演出しました。

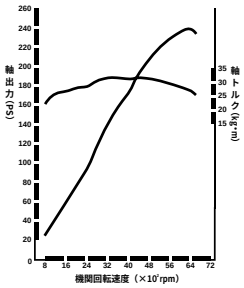
クリーン＆パワフルなエンジン ＆ ドライブトレーン

新型「セドリック」「グロリア」では、大幅な燃費と出力の向上を実現した直噴エンジンと、トルクのつながりが一層なめらかになったオートマチックトランスミッションを組み合わせるなど、あくまで上質で力強い、高級車にふさわしいパワートレーンを目指しました。

さらに、直噴エンジン（「NEO Di VQ30DD および NEO Di VQ25DD」）、ターボエンジン（「NEO VQ30DET」）として初めて平成 12 年排出ガス規制に適合、これからの高級車として、環境への配慮にも積極的に取り組んでいます。

LEV 平成12年規制適合

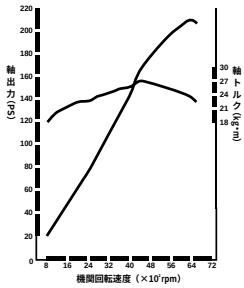




NEO Di DIRECT INJECTION **VQ30DD**

最高出力　：240ps/6400rpm
最大トルク：31.5kg･m/3600rpm
10･15 モード燃費：11.2km/l

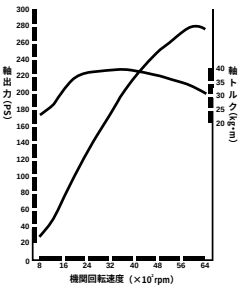
LEV 平成12年規制適合



NEO Di DIRECT INJECTION **VQ25DD**

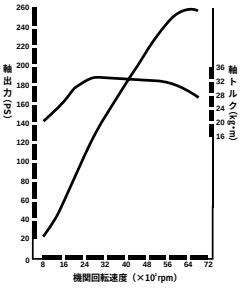
最高出力　：210ps/6400rpm
最大トルク：27.0kg･m/4400rpm
10･15 モード燃費：11.6km/l

LEV 平成12年規制適合



NEO NISSAN ECOLOGY ORIENTED PERFORMANCE **VQ30DET**

最高出力　：280ps/6000rpm
最大トルク：39.5kg･m/3600rpm
10･15 モード燃費：9.0km/l



NEO 6 STRAIGHT Turbo **RB25DET**

最高出力　：260ps/6400rpm
最大トルク：33.0kg･m/2800rpm
10･15 モード燃費：8.6km/l

●「NEO Di VQ30DD LEV*」エンジン
●「NEO Di VQ25DD LEV*」エンジン

＊平成12年規制適合

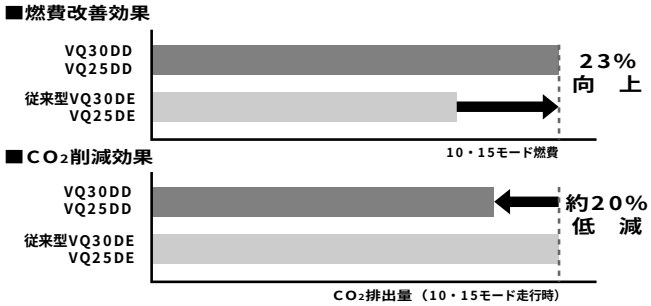
「NEO Di VQ30DD」および「NEO Di VQ25DD」エンジンは、レスポンスのよさと力強い低速トルク、低燃費が高く評価されているVQエンジンをベースに直噴化を図り、VQ30DDエンジンで、最高出力240PS最大トルク31.5kg・m、VQ25DDエンジンで、最高出力210PS最大トル27.0kg・mという大幅な出力の向上を可能にしました。同時に、11.2km/l、11.6km/lという、このクラスでは画期的な低燃費を実現、CO_2も大幅に削減しています。

NEO Diガソリンエンジンは、燃料を直接シリンダー内に噴射し、独自のNExT（Nissan Exquisitely Tuned）燃焼により燃費のよい「成層燃焼」と高出力を発生する「均質燃焼」とを使い分けています。また、「均質燃焼」で、混合気を希薄にした「均質リーン燃焼」も実現しています。これら3つの燃焼を使い分けることで、燃焼方式の切り換えをスムーズにするとともに、燃費のよい希薄燃焼領域の拡大を図ることで、運転性と燃費を一段と向上させています。このほかにも連続可変バルブタイミングコントロール、新可変吸気システム、電子制御スワールコントロールバルブなどの最新技術を投入し、高出力と低燃費を両立しています。

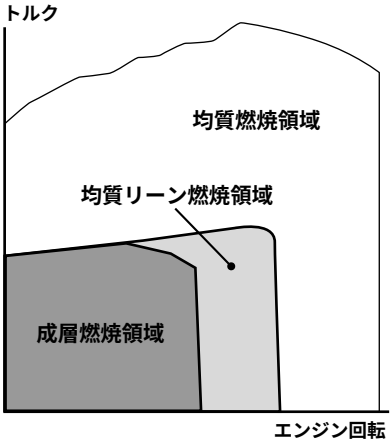
また、電子制御スロットルを採用、アクセル操作に対して車両の前後振動を抑えるようにスロットルを制御するインバースフィルター制御を行い、なめらかな走りとロックアップ車速の低速化を実現しています。さらに、スノーモードでアクセルに対するスロットル開度の遅開きを行うことで、トランスミッションの変速制御とあわせ、雪道などの滑りやすい路面での発進性、アクセルコントロールのしやすさを向上しました。

さらに、直噴ガソリンエンジン車としては、日本で初めて平成12年排出ガス規制に適合しています。

「NEO Di VQ30DD LEV」



■燃焼概念図



● 「NEO VQ30DET LEV*」 エンジン

＊平成12年規制適合

VQ30DETエンジンは、高出力、高レスポンス、低燃費で定評のある従来型車のエンジンをベースに、その動力性能にさらに磨きをかけるとともに、環境性能においても緻密な配慮を試みることによりトータルにクオリティを高めた高級車にふさわしい先進のエンジンです。

インペラー形状の見直しによるターボチャージャーのコンプレッサー効率向上、インタークーラー大型化による吸気温度低下、ノックコントロール制御改良による点火時期のリファイン、エキゾースト部品の低排圧化などにより、実用域でのトルクを＋2kg・m向上させるとともに、最高出力は＋10PSの280PSを達成しました。

また直噴エンジン同様、電子制御スロットルを採用し、なめらかな走りの実現と、滑りやすい路面での発進性、アクセルコントロールのしやすさを向上しました。

さらに、エンジン本体およびターボチャージャーの騒音低減を図り、高級パーソナルサルーンに求められる質の高い静粛性を極めました。

VQ30DETエンジンのもう一つの魅力は、その環境性能にあります。床下触媒に世界で初めてHCトラップ型三元触媒を採用することで、排出ガスの温度が低い時に多く排出されるHCをゼオライトで吸着し、温度の上昇にともない三元触媒で酸化処理することを可能とし、ターボエンジン車としては初めて、平成12年排出ガス規制に適合しています。

● 「NEO ストレート6ターボ RB25DET」 エンジン

4WD車に搭載するRB25DETエンジンは、従来型車に対して大幅な改良を行い、「セドリック」「グロリア」にふさわしい力量感あふれる走りを追求したターボエンジンです。直列6気筒ならではのなめらかなフィーリングを確保しながら、ターボチャージャーの大型化およびインタークーラーのサイズアップなどにより全域にわたる大幅なトルクの向上によってキレのよい加速感を楽しめます。また、リニアチャージコンセプトを継承しつつ、フリクションを低減し、高応答NVCSを採用することで、レスポンスを向上すると同時に燃費も向上させています。

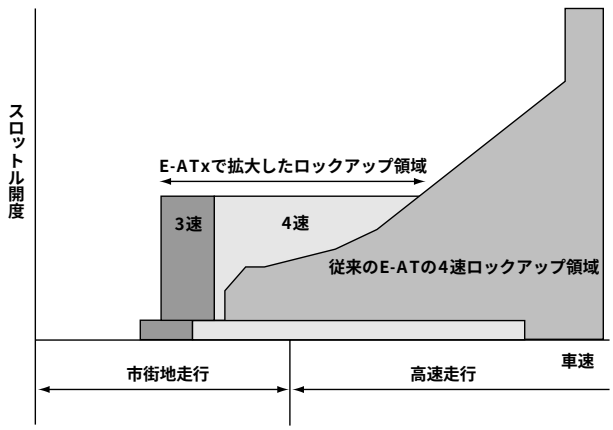
●オートマチックトランスミッション（E-ATx）

商品コンセプトでもある「上質な走り」を実現するために、オートマチックトランスミッションについても力強くしなやかな加速性能となめらかで上質な変速性能を追求したE-ATxを採用しました。完全ロックアップ車速の低速化、4段に加え3段までの多段ロックアップ、減速時のロックアップなどにより、広い領域での完全ロックアップを実現した「ワイドレンジロックアップ」を採用しています。この結果、さらなる燃費の向上が可能となりました。また、内部の流れの三次元解析に基づく翼形状の見直しや流路の最適化により、伝達効率を極限まで高めた「E-Flowトルクコンバーター*」も採用しています。

変速制御システムにおいては、エンジンとオートマチックトランスミッションとの総合制御（DUET-EA）の高機能化、学習制御の高度化、および変速時の締結油圧を最適にバランスさせることにより、トルクのつながりをさらになめらかで上質なものとしています。

＊E-Flowトルクコンバーター：従来から定評ある超扁平型トルクコンバーターの優れたスペース効率はそのままに、動力変換効率を最大限に高め、動力性能と燃費を高次元でバランスさせた最新型トルクコンバーター。

■ワイドレンジロックアップ



しなやかな走りを支える「新世代 LL クラスプラットフォーム」

新型「セドリック」「グロリア」では、走行性能はもちろん、快適性、安全性にいたるすべての基本性能を最高レベルに向上させるため、FR 高級サルーン用にボディ、サスペンションなど基本から新設計した『新世代 LL クラスプラットフォーム』を採用しました。

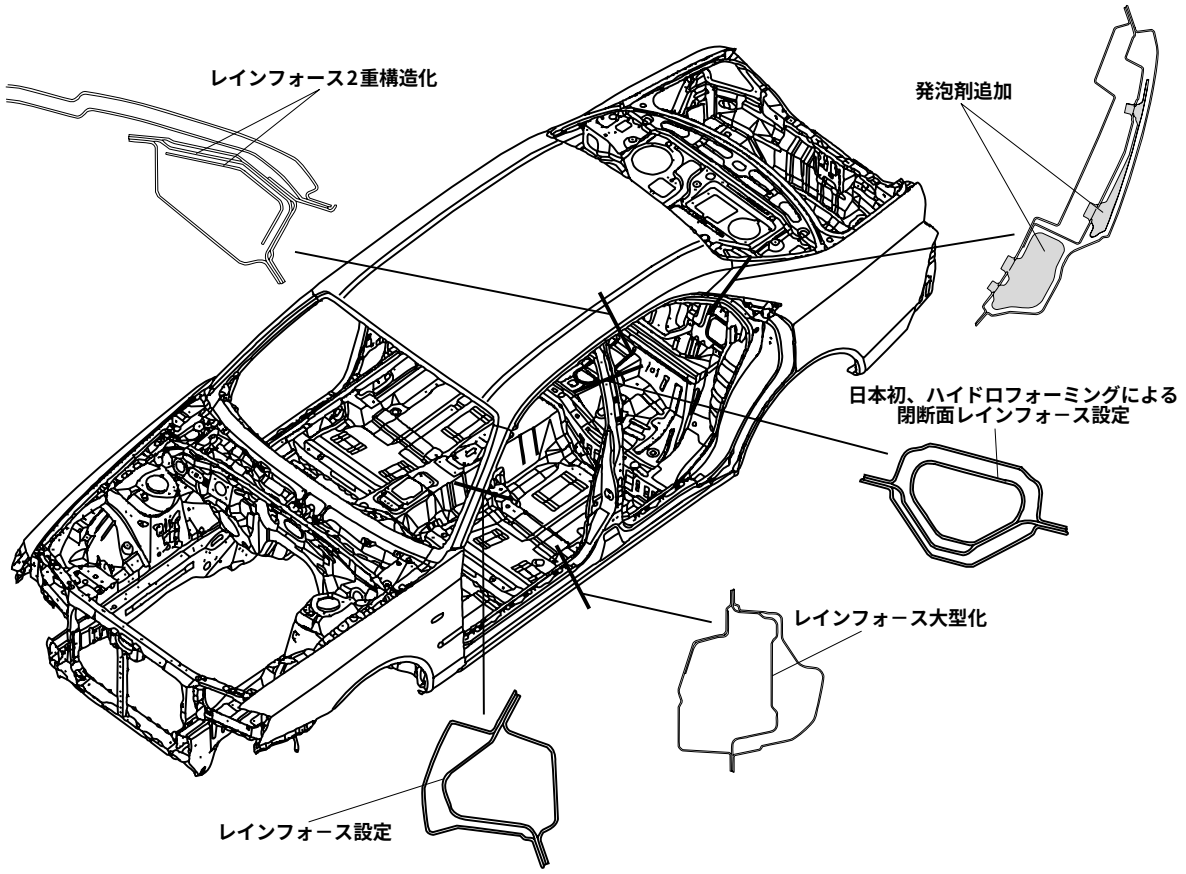
高剛性ボディ、新開発のサスペンション、排気系、燃料系などをトータルでまとめたものが『新世代 LL クラスプラットフォーム』であり、実際にクルマが走行している状態での車体の動きをプラットフォームとして解析し、従来の静的な剛性に加え動的な剛性に着目して開発することで、「高級パーソナルサルーン」にふさわしい、しなやかで安定感のある走りが実現できました。

●屈強な骨格で車体を支える高剛性ボディ

上質な走りと高い操縦安定性を実現するためのキーポイント、それはフロアー、ボディサイド等の基本構造を強化することです。重量を最小限に抑えつつ、クルマ全体の土台となる骨格部をしっかりとつくり上げました。

フロントおよびリヤサスペンションメンバーの固定部周辺に補強部材を使用したことなどにより、サスペンション取付部剛性を向上させました。また、ボックス断面の最適配置、拡大、内部へのレインフォース設定などにより、静的車体剛性（全体ねじれ剛性値）が従来型車より約 23% 向上しています。

■ボディ構造図・強化部位図



●優れた安定性と上質な乗り心地を支えるサスペンション

■新開発リヤマルチリンクサスペンション

リヤサスペンションには、あらゆる路面状況において、的確でなめらかな乗り心地の実現と急な車線変更にも素早く前輪に追従し、かつ安定したハンドリング性を確保する新開発のリヤマルチリンクサスペンションを採用しました。

さまざまな解析を駆使して、サスペンションメンバーの最適配置からブッシュひとつひとつの剛性にいたるまで細やかなチューニングを図ったことにより、ドライバーはもちろん、後席の乗員にも安心とくつろぎが実感できる優れた性能を実現しています。

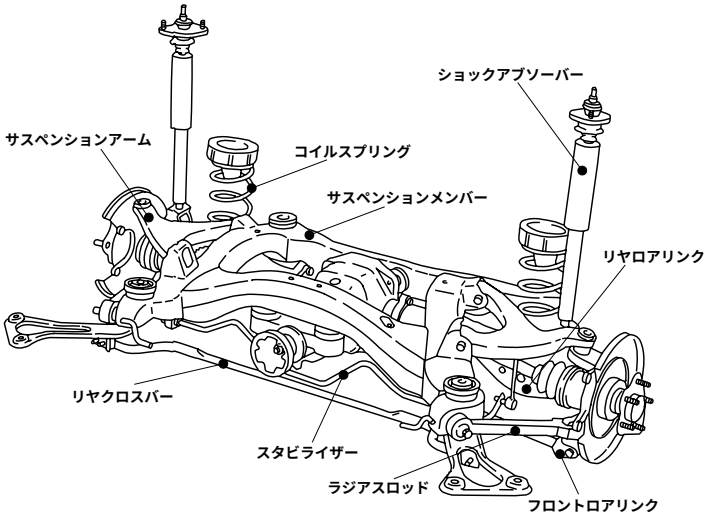
ショックアブソーバを車輪直上に配置したことで、車輪の余分な動きを抑制。また前後方向に、柔らかいブッシュを用いたラジアスロッドを採用したことにより路面衝撃をソフトに受け止めることができます。新たにスプリングとショックアブソーバーを別配置しているため、ショックアブソーバーへのコイルスプリングからの入力がなくなり、フリクションが低減しました。また、スペース効率にも優れ、燃料タンクを含めたレイアウトの見直しを行うことで、トランクの奥行きを、従来型車比で125mm拡大することができました。さらに、アルミSSM（Semi Solid Metal：半溶融鋳造）工法を用いたアルミリンクとハイドロフォーミングによるサスペンションメンバーを採用。従来型車に比べて片輪で約6.0kgの軽量化を実現しています。

新世代LLクラスプラットフォームに適合し、乗り心地、ハンドリング性能、スペース性を高次元でバランスさせた、まさに新世代の画期的リヤサスペンションです。

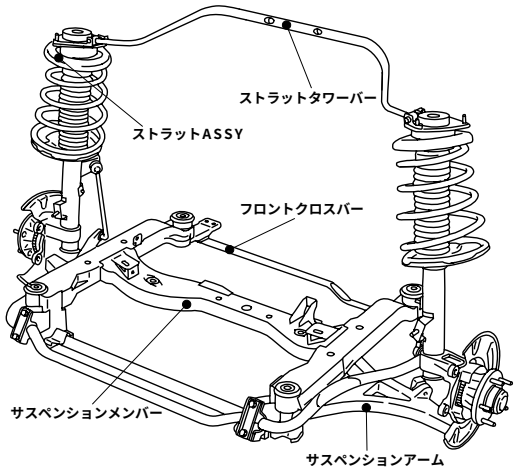
■軽量化を行ったフロントサスペンション

マクファーソンストラット式のフロントサスペンションは、あらゆる路面状況の中での操縦安定性と機敏なレスポンス、そして快適な乗り心地を高いレベルでバランスさせるとともに、徹底的な軽量化も実現しました。アルミSSM工法のアルミリンクとハイドロフォーミングによるサスペンションメンバーの採用や、各部品の徹底した解析により高い剛性を保ちつつ、従来型車に比べ片輪で約4.3kgの軽量化を実現しています。さらに、スプリングの配置を変更することにより、フリクションを約20%低減。フロントストラットタワーバーの止め点構造の改良により車体剛性も飛躍的に向上しています。また、メンバーインシュレーター座面径を広げサスペンション取付部の剛性もアップしたことに加え、ラック・マウント構造の改良、およびストラット・アッパーのボール・ベアリングの採用によってしなやかで的確な操舵フィールも実現しています。

■リヤマルチリンクサスペンション



■フロントストラットサスペンション



●しなやかで安定感のあるブレーキシステム

安全性の根幹を支える制動力。「セドリック」「グロリア」のしなやかで安定したブレーキングは、高級パーソナルサルーンとしての信頼感をいっそう深めます。

ブレーキシステムには、全車に4輪ベンチレーテッドブレーキを採用し、ブレーキフィーリングの向上と安定した制動性能を確保しました。また、ターボ車のフロントには16インチのブレーキを搭載しました。さらに、9インチ＋10インチ（従来型車は8インチ＋9インチ）のタンデム型ブレーキブースターを全車に採用するとともに、積載荷重（乗車人数）の変化に応じて、後輪の制動力をコントロールするEBD（電子制御制動力配分システム）を採用（2WD車）、ABS、ブレーキアシストと併用することで、安定した制動性能を実現しました。

●タイヤ

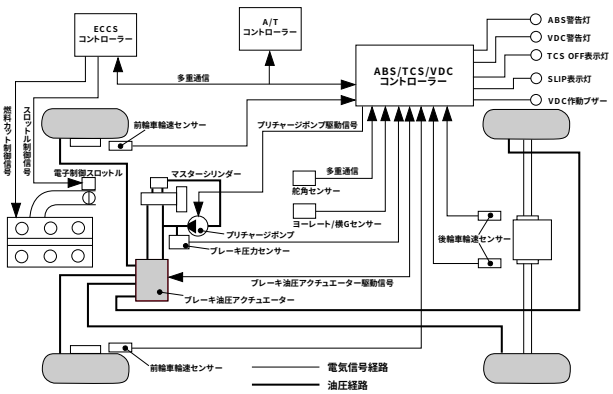
「セドリック」には、高級パーソナルサルーンにふさわしい静粛性と乗り心地を高次元で両立した205/60R16 92Hタイヤを設定しました。「グロリア」には、静粛性と乗り心地を追求しながら、スポーティな操縦安定性を合わせ持つ215/55R16 91Vタイヤを設定しています。

また、「セドリック」「グロリア」ともに設定している215/50R17 91Vタイヤは、さらなるスポーティな走りを追求しながらも、静粛性と乗り心地を合わせ持つハイグレード仕様です。

●より確かな危険回避性能を実現するビークルダイナミクスコントロール（VDC）

滑りやすい路面や障害物を緊急回避する際、車両が横滑りや尻振りを起こし、車のコントロールが難しくなることがあります。VDCは、各種センサーで車両の動きを読み取り、自動的に4輪のブレーキ力およびエンジン出力を制御することで、車両の安定性を向上させる画期的なシステムです。ハンドルの効きや制動性能を高度にバランスさせており、万一の危険を回避する際の運転操作をサポートしてくれるため、ドライバーの負担を大幅に軽減します。また、ABSやTCSの機能もあわせ持ち、総合的な制御をしているため、さまざまな走行条件下で、より高い安心感が得られます。

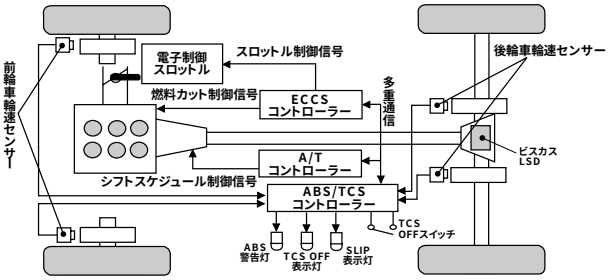
■VDCシステム図



●ビスカスLSD付きトラクションコントロールシステム（V-TCS）

滑りやすい路面などで発生する駆動輪のホイールスピンを抑えるトラクションコントロールシステム（V-TCS）を採用しました。4輪の車輪速信号からTCSコントローラーで駆動輪のスリップ状態を検出し、ホイールスピンが過大となる時にエンジンの燃料カットによってこれを低減させ、ドライバーの加速要求に応じた最適なエンジントルクとなるようにスロットル開度を自動制御します。ビスカスLSDと組み合わせることで、より理想的なトラクション性能を得られ、特に雪道などの滑りやすい路面での発進・加速時に要求される微妙なアクセルワークからドライバーを解放し、イージードライブに貢献します。

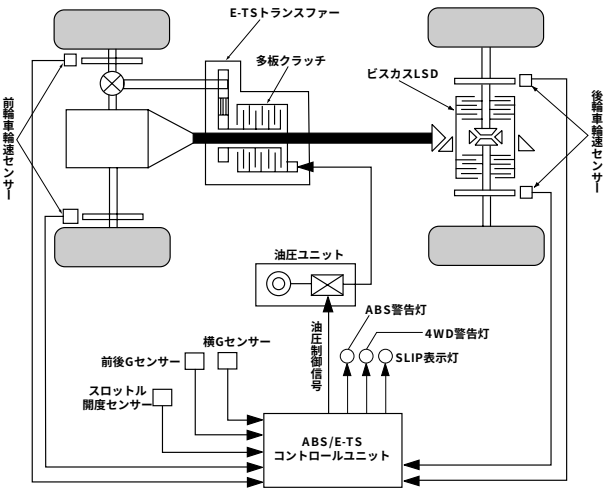
■V-TCSシステム図



●電子制御トルクスプリット4WD（ATTESA E-TS）

4WD車には刻々と変化する路面状況や車両の運動状況を各種のセンサーによって検知し、ドライバーのアクセルとブレーキ操作に応じて最適な駆動力配分を行う電子制御トルクスプリット4WD（ATTESA E-TS）を採用しました。乾いた路面から雪道まで常に理想的な旋回性能、発進性能をキープ。FRベースならではの自然なハンドリング性能を生かしながら、高級パーソナルサルーンらしい安定した操縦性能を発揮します。

■ATTESA E-TSシステム図

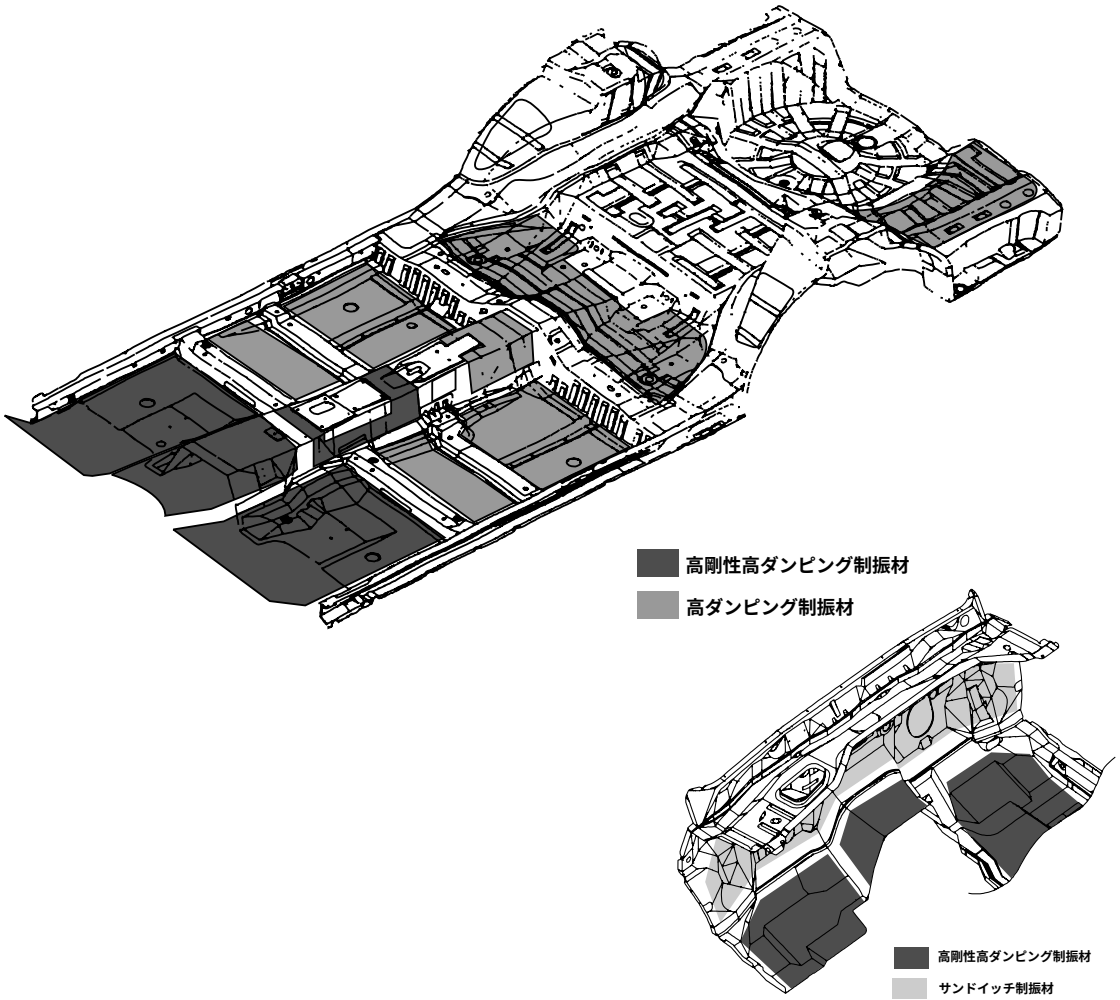


群を抜く静粛性

心からやすらぎを感じていただくための重要なファクターとなる室内の静粛性。
「セドリック」「グロリア」では、これまでにない高い静粛性を実現するため、基礎設計からチューニングにいたるまで徹底的にこだわりました。
新世代LLクラスプラットフォームによる、骨格部材の配置最適化やサスペンション取付部の剛性向上により、路面からの入力音を低減し、エンジン騒音の低減、吸・遮音・制振材の合理的配置などによって、アイドリング時や発進加速時等、あらゆるシーンにおいて高い静粛性を実現しました。

●吸遮音材・制振材の合理的配置

■吸遮音材・制振材配置図例



●エンジン騒音の低減

■エンジン騒音の低減に採用した主な技術

・フロントカバー、コレクターマニホールド、アルミオイルパン等の高剛性化による放射音低減
・オイルパンロア部、エキゾーストマニホールドカバー、連通管カバー、ターボ遮熱板への制振鋼板の採用による放射音低減
・エンジンカバーの吸音材変更による吸音効果向上
・吸気ダクト、インタークーラーへのレゾネーターの追加とマフラーの大容量化による排気音低減

■ターボチャージャー騒音の低減に採用した主な技術

・インペラー形状変更による気流音低減
・インタークーラー配管への遮音材追加による放射音低減
・サイレンサー追加による気流音低減
・ターボ遮熱板への制振鋼板の採用による放射音低減

ゆとりの室内空間

ドライバーも同乗者も同じく快適であること、さりげない使いやすさが心地よいこと。新型「セドリック」「グロリア」では、乗る人すべてにやすらぎを感じてもらうためのゆとりの室内空間の実現を目指しました。

●すべての人に使いやすくという思想から生まれたユニバーサルデザイン

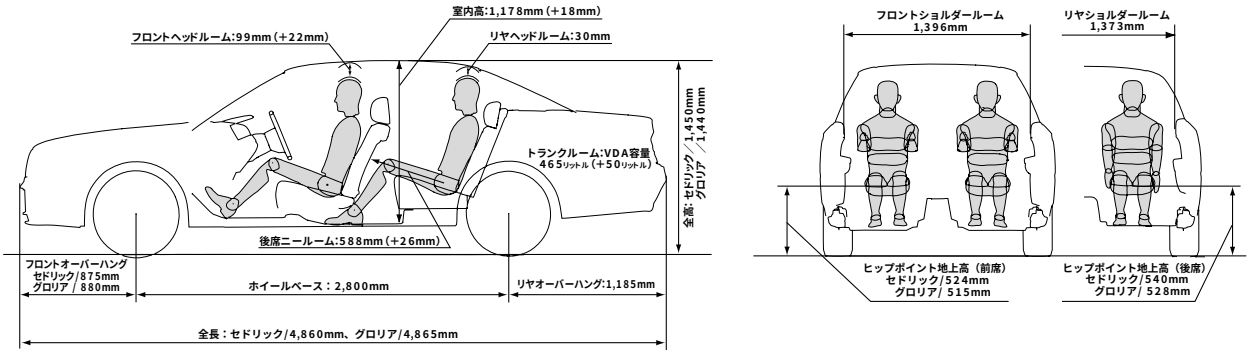
ユニバーサルデザインは、年齢、性別、個人差を問わず、すべての人にとって使いやすい製品や環境の提供を目的として提案された考え方です。

「セドリック」「グロリア」では、乗る人の誰もが心地よく感じられるクルマづくりを目指し、このユニバーサルデザインの考え方をクルマの基本設計から取り入れています。その結果、「誰もが乗りやすく快適に過ごせる空間、どこに座っても開放感のある視界、誰もが分かりやすく、見やすく、使いやすい操作系」を実現しています。

●ゆとりの車両レイアウト

ゆとりある室内空間を確保するため、室内高を18mm、フロントヘッドルームを22mm拡大しました。また、後席のニールームは26mm拡大し、後席パワーシートのスライド量は150mmというロングスライドを可能としました。

■車両レイアウト



●最適なドライビングポジション

高速道路や長距離移動でも疲れを感じにくい最適なドライビングポジションを実現するため、ヒール段差を拡大するとともにステアリングの上端位置を乗員に近づけています。これによって身体にかかる負荷の少ない、最適なポジションを確保しています。また、ドアアームレストとセンターコンソールの高さを合わせ、両ひじを自然で違和感のない工夫も行っています。

最適なドライビングポジション

●快適さが向上した後席乗降性

リヤドアの開口間口を拡大するとともに、ドアの開度もほぼ直角に広げたことで、スムーズで負担の少ない乗り降りを実現し、車両に乗り込む際に、もてなしの高さを感じさせます。

ほぼ直角に開くリヤドア

●オゾンセーフフルオートエアコン（設定温度・吹き出し口左右独立調整機能付）

乗るだけで心なごむようなもてなしの室内空間を追求するうえで、室内環境の快適性を高めることは重要な要素です。日射の状態、各席の乗員の好みに応じて、左右で設定温度、吹き出し口を独立して制御できるシステムを採用しました。エバポレーター、ヒーターコアを前後に縦置き配列し、中央に仕切の板を設けることで、左右独立の風の通路を確保。吹き出し口の切り換えも容易に行え、運転席と助手席をそれぞれ独立して制御することができます。

エアコン操作部

エアコン操作画面

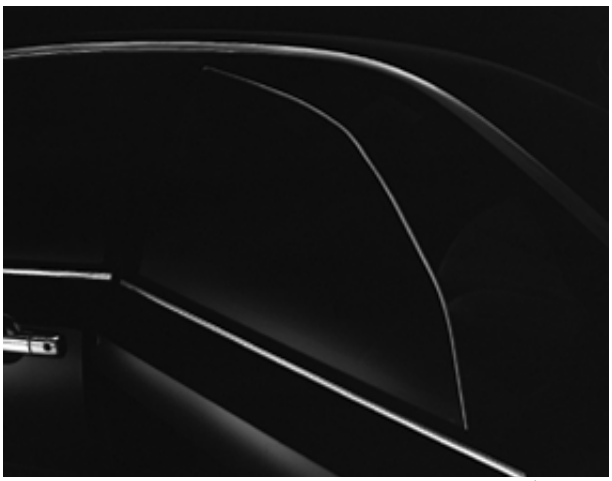
●乗降性を向上させた乗降時自動昇降機能付運転席パワーウインドウ

ドアを大きく開くことの出来ない駐車場などで乗降しやすくするため、ドライバーが、ドアを開け閉めするだけで自動でパワーウインドウが作動するシステムを採用しました。運転席のドアを開けるとウインドウが自動下降し、ドアを閉めるとウインドウは自動上昇します。ドアの開口部が広がるため楽に乗降することができ、またドアを閉めるときは、ウインドウが開いているので、軽い力でドアを閉めることができます。

乗降時自動昇降機能付運転席パワーウインドウ

●暗い場所での乗降をサポートするリヤドアガラスエッジイルミネーション

夜間や暗い場所においての乗降視認性の向上を図るため、ガラス上端末を光らせる新たなシステムをプライバシーガラスに採用しました。ドアの開閉によって自動で点灯、消灯が行われるので、暗い屋内駐車場などでもガラスを視認しやすく安心して乗り降りできます。点灯色は鮮やかなグリーンの発光で、その美しさは高級車らしい端正な表情をいっそう引き立てます。

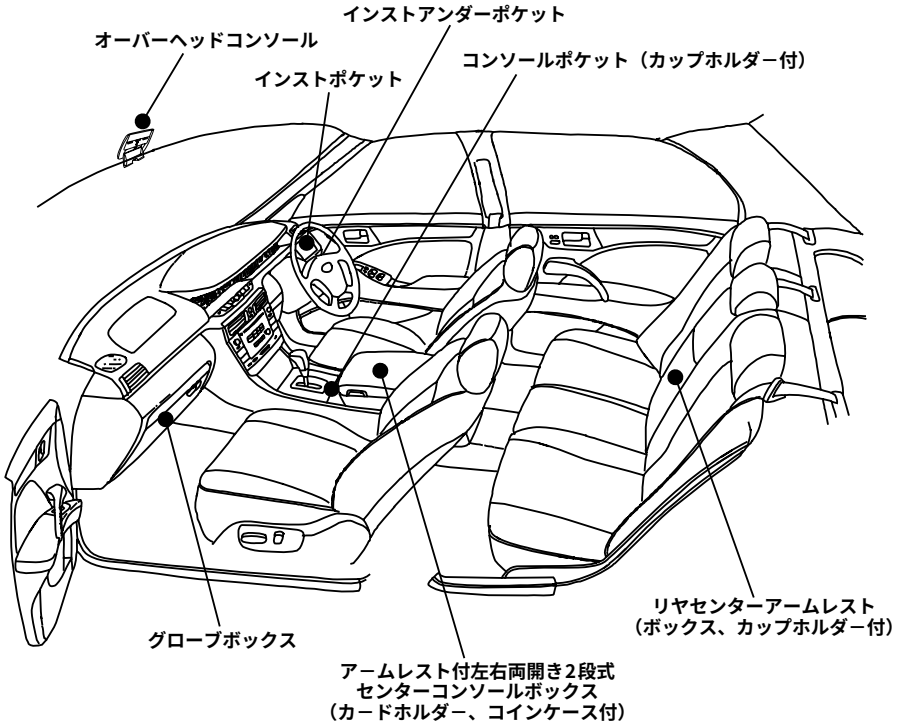


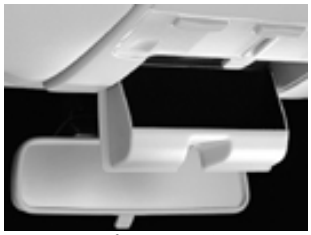
リヤドアガラスエッジイルミネーション

●使いやすさを最優先した豊富な収納スペース

収納スペースは、オーバーヘッドコンソール、インストポケットなどを追加し、十分な容量を確保するとともに、アームレスト付左右両開き2段式センターコンソールボックスなどのより使い勝手のよい収納スペースを用意しました。小物の使用優先順位を考慮に入れたゆとりある収納が可能です。

■収納スペース




オーバーヘッドコンソール

アームレスト付左右両開き
2段式センターコンソールボックス

●実用性を向上させたゆとりのトランクスペース

トランク容量についても従来型車に対して50l拡大して、465lのVDA容量を確保しました。 奥行きを従来型車比で125mm拡大するなど、荷室高、荷室長、荷室幅いずれも拡大し、より機能的でフラットな積載能力を実現しています。ゴルフバッグ、シューズケース、スポーツバッグ4人分が収納でき、また標準型の車椅子の積載も可能です。

ゆとりのトランクスペース

●トランクオートクロージャー

軽い力でトランクリッドを閉められるオートクロージャーを採用しました。トランクを確実に、静かに閉じることができるので、後席にゲストを乗せている時などにもさりげない気配りを演出できます。

トランクオートクロージャー

先進の情報コミュニケーション

新型「セドリック」「グロリア」では、情報化に対するアプローチにも積極的に取り組みました。
トータルインフォメーションディスプレイによる車両情報表示、DVD ナビゲーションシステム、コンパスリンクなど、ドライバーに情報を提供するだけでなく、ドライバーとクルマ相互の先進の情報コミュニケーションを目指しています。

●トータルインフォメーションディスプレイ

メーターと一体とした液晶モニター（5.8 インチワイド、一部 7 インチワイド）を全車に標準設定しました。最大の特長は、アフォータンス（情報の探しやすさ）のレベルの高さです。メーターと液晶モニターを一体化させ、最適なポジショニングを図ったことによって、異常検出時の警告表示、燃費情報、車間距離の表示、メンテナンス情報、ドライブ情報、各種車両状態設定機能など、運転中における幅広い情報を的確に視認することができます。
優れた機能性の確立により乗員の安心感、利便性が格段に向上したことはもちろん、ドライバーとクルマの相互コミュニケーションを新しい次元に進化させる可能性を提案します。

液晶モニターへの車両情報表示機能

■警告表示

車両に以下の異常が検出されると、警告画面が割り込み、対処方法などを表示します。

エンジン警告	半ドア、トランク警告
油圧警告	ABS電子制御システム警告
エアバッグ警告	VDC警告
ブレーキ警告	TCS警告
オーバーヒート警告	4WD警告
電圧警告	ASCD警告
ウォッシャー警告	車間距離レーダーのセンサーの汚れ警告
燃料残量警告	速度警告（ユーザーが設定した速度にて）
パーキングブレーキ引きずり警告	

警告表示画面

■自車運行情報

走行中におけるさまざまな情報をドライバーに表示することで、利便性が高まるとともに、より確かな安全性が保たれます。

燃費情報（2WD車のみ表示可能）	瞬間燃費	100msec毎
	平均燃費	電源投入から30秒毎更新
	燃費履歴	2km毎のスプリット燃費
	給油間燃費	前々回の給油から前回の給油までの燃費
	航続可能距離	残りの燃料で走行可能と推測される距離
メンテナンス情報（ピットサイン）	オイル	ユーザーがリセットしてからの累積走行距離
	オイルフィルター	
	タイヤ	
	ピットサインの設定	ピットサインの距離を500km～30,000km間で設定可能
ドライブ情報	指定時からの平均車速	ユーザーがリセットしてからの平均車速
	指定時からの走行距離	ユーザーがリセットしてからの累積走行距離
	指定時からの走行時間	ユーザーがリセットしてからの累積走行時間
先行車情報（車間距離レーダー付車のみ表示可能）	先行車までの車間距離	

燃費情報画面

ドライブ情報画面

■各種車両状態設定機能

ドライバーの好みに応じて、各種車載電装機器の設定を変更することができます。

項　目	設定可能内容
運転席乗降時の窓自動昇降	常時/ON選択時/OFF
車速連動ドアロック	ON/OFF
Pポジション連動ドアロック解錠	ON/OFF
オートライト感度調整	8段階
メーター、ディスプレイ自動減光	ON/OFF
熱線リヤウインドウのタイマー設定	15/30分
熱線リヤウインドウのエンジン始動連動	ON/OFF
ドアロック解除時のルームランプ点灯	ON/OFF
ルームランプ消灯タイマー	0/7.5/15/30秒
降車時のステアリング跳ね上げ	ON/OFF
降車時のシート待避	ON/OFF
速度警告の設定	OFF/10～180km/h
電子キーID照合結果の表示	ON/OFF

各種車両状態設定画面

●ファインビジョンメーター

ファインビジョンメーターは、従来型車に対して輝度を向上させるとともにオプティマ書体を採用して、より視認性を高くしました。また、素早く情報を探せるように、インジケーター、時計とオドトリップメーターなどをグルーピングして一カ所にまとめて配置しました。

ファインビジョンメーター

●ハイレベルな操作性を備えるDVDナビゲーションシステム

視認性を計算し尽くしたディスプレイと操作スイッチ（液晶モニター操作部、ステアリングスイッチ）の最適なレイアウトによって、より容易に確実なナビゲーション操作を行うことができます。

DVD-ROMの採用により、高速化、検索データの充実を図るとともに、「立体バードビュー」にも改良を加え、3次元立体地形のカラー表示により地形の高低差を表現するだけでなく、市街地では建物を立体的に表現するなど、よりリアルな地図表示を実現しています。また、FM多重チューナーを内蔵し、VICS（道路交通情報通信システム）センターが提供する渋滞情報、交通規制情報の取得が可能になり、あわせてFM多重放送の文字情報表示も可能です。さらにD-GPS対応により自車位置がより高精度で表示できます。その他、プルダウン形式の地図メニュー機能や事故多発地点の警告機能、ドア・ツー・ドアルート探索機能（政令指定都市および都道府県庁所在地のみ、細街路ルートは目安となります）、曲がり角において交差点名称や目印となる建物を音声案内し、高速道路の分岐では車線等をリアルに表示するJCT（ジャンクション）ビューを採用したルートガイド機能、地図＆地図、地図＆ハイウェイ情報などの2画面同時表示などの最先端機能が満載されています。

TV/ナビゲーションシステム（DVD方式）

●コンパスリンク

ドライバーの要望に応じて、情報センターのオペレーターが希望の目的地を探し、ナビゲーション操作、電話接続、さらに、先進のネットワーク技術を駆使して、交通情報、天気情報、ドライブレジャー情報などをリアルタイムに提供するコンパスリンク。

ドライバーに代わって面倒な操作、検索などを行い、快適なドライブを演出する秘書さながらの安心なシステムです。

新型「セドリック」「グロリア」では、さらに新しい機能「オートコンパスリンク」が追加され、サービスの拡充が図られています。

「オートコンパスリンク」は、交通情報や天気情報、ニュースなど、いつも利用する情報を定期的に、またはドライバーの要望に応じて、オペレーターを介さずに自動的に配信します。

●オーディオ

本格オーディオとしてカセット一体AM/FM電子チューナーラジオを搭載した、総合出力160Wの専用造形「ホログラフィックサウンドシステム」を用意しました。120Wのパワーアンプ、迫力ある重低音が得られる専用40Wアンプ付の20cmウーハーをリヤパーセルシェルフに、大口径フルレンジスピーカーを左右のドアの4カ所に、さらにフロントピラー下部にツィーターを装備し、トータル7スピーカーとして、音場特性に合わせた最適チューニングを施して、臨場感あふれる音響空間をつくり出しています。FMは、オートプリセットメモリー（12局）が可能。CDチェンジャーは標準装備で、MDチェンジャー対応機能を備えています。

また、スーパーサウンドシステム（120W）は、TVチューナーやN'FITナビをはじめ、CDチェンジャー、MDチェンジャーも同時に接続できます。

ホログラフィックサウンドシステム

●セキュリティを高めた電子キーシステム

キーをキーシリンダーに挿入することにより、キー固有の暗号（電子ID）と、車両側に登録されている暗号を照合させキー回転を許可する次世代のキーシステムを採用しました。

キーの暗号がエンジンをかけるたびに更新されるため、正規のキー以外ではエンジンをかけることができず、車両盗難防止に効果を発揮します。また、キーシリンダー挿入部が短いため挿入しやすく、全長も短いため携帯性が良好です。

電子キー＆盗難防止装置（エンジンイモビライザー、カーアラーム）

環境への配慮

日産では、環境保全と資源の有効活用に対して、積極的に取り組んでいます。新型「セドリック」「グロリア」では、直噴エンジンを採用し、大幅な燃費の向上とCO_2の削減を行い、さらに、「VQ」エンジン搭載全車について、平成12年排出ガス規制に適合するなど、環境への配慮には特に力を入れています。

■大気汚染の防止

●平成12年排出ガス規制*への適合

「VQ」エンジン搭載全車を、新型床下三元触媒の採用などにより、10・15モードでのCO（一酸化炭素）、HC（炭化水素）、NOx（窒素酸化物）の排出ガス値を平成12年排出ガス規制に直噴およびターボ車として初めて適合させ、よりクリーンな排気を実現しました。

また、七都県市低公害車指定制度や京阪神6府県市低NOx車指定制度等の排出ガス基準もクリアしています。さらに、国の「物品等の環境負荷の少ない仕様、材質等に関する推奨リスト」のガイドラインをクリアしています。

＊平成12年排出ガス規制

CO、HC、NOxの排出レベルを8万km走行後（社内測定モード）でも現行規制値の約1/3へ低減。燃料蒸発ガス規制強化、排気制御部品の故障自己診断機能追加など、2000年10月以降施行される新たな排出ガス規制。

なお、「VQ」エンジン搭載全車は、平成11年度税制改正に伴い、低公害車として自動車取得税減税の対象車となっています。

■平成12年排出ガス規制に適合するために採用した主な技術

●「NEO VQ30DET LEV*」エンジン

床下触媒に世界初のHCトラップ型三元触媒を採用

プリ触媒の採用

エバポガスの低減

排気関連部品の自己診断

●「NEO Di VQ30DD LEV*」エンジン／「NEO Di VQ25DD LEV*」エンジン

マニホールド触媒追加（2個）

新型床下三元触媒の採用

触媒容量および触媒貴金属量の見直し

ツインO_2センサーの採用

エバポガスの低減

排気関連部品の自己診断

＊平成12年規制適合

■地球温暖化の防止

●直噴エンジンによる燃費の向上とCO_2の削減

直噴エンジン（NEO Di）のVQ30DDおよびVQ25DD搭載車では、従来型同排気量車に比べ、10・15モードで約23%の燃費向上と約20%のCO_2削減を行いました。

なお、この直噴エンジン搭載車は、平成11年度税制改正に伴い、低燃費車として自動車取得税減税の対象車となっています。

■リサイクル

●リサイクル可能率*90%を達成。（当社「2000年以降発売する新型車」での達成目標を前倒し）

＊日産独自の算出基準による（重量ベース）

●リサイクルしやすい材料（熱可塑性樹脂）を多くの部品に採用。

●リサイクル部品を多くの部品に活用。

■環境に関する情報の公開

●新型「セドリック」「グロリア」の製造、使用、廃棄・リサイクルの各段階における環境保全に対する取り組みの詳細は、「日産セドリック（グロリア）環境ノート」で紹介しています。また、同様のデータを、取扱説明書にも掲載しています。

世界トップレベルの安全性

日産では、「トリプルセーフティ（安全の３つの砦）」という安全思想を基に、さらなる安全性の向上を目指したクルマづくりを行っています。

「セドリック」「グロリア」の開発にあたっても、この「トリプルセーフティ」の考え方から生まれた多くの安全技術を採用し、世界トップレベルの安全性を実現しています。

■安全採用項目一覧

●「インフォメーションセーフティ（危険を予知する安全技術）」

・キセノンヘッドランプ
・コンプレックス サーフェイス リフレクター ハロゲンヘッドランプ（C.S.R. ハロゲンヘッドランプ）
・電子制御ワイパー
・車間距離レーダー
・ハイマウントストップランプ　　など

●「コントロールセーフティ（危険を回避する安全技術）」

・ABS（アンチロックブレーキシステム）
・ブレーキアシスト
・積載荷重（乗車人数）に応じて適切な前後制動力配分を行うEBD（電子制御制動力配分システム）
・VDC（横滑り防止装置）　　など

●「インパクトセーフティ（被害を最小化する安全技術）」

・「ゾーンボディ」
・デュアルエアバッグ（運転席・助手席 SRS エアバッグシステム）
・頭部保護機能も持つサイドエアバッグ（運転席・助手席 SRS サイドエアバッグシステム）
・追突時に頭部をサポートし、頸部への負担を軽減する前席アクティブヘッドレスト
・衝突時の衝撃を緩和するフレンドリーアッパーインテリア
・衝突時の歩行者の下肢、膝に与える傷害を軽減するフレンドリーバンパー
・前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト
・チャイルドシート固定機構付シートベルト（後席左右２席）
・耐水タイプのパワーウインドウスイッチ
・ブレークアウェイタイプのフィラーキャップ
・ロールオーバー時の燃料流出防止
・内装材の難燃化　　など

●世界トップレベルの衝突安全性能を実現したゾーンボディ

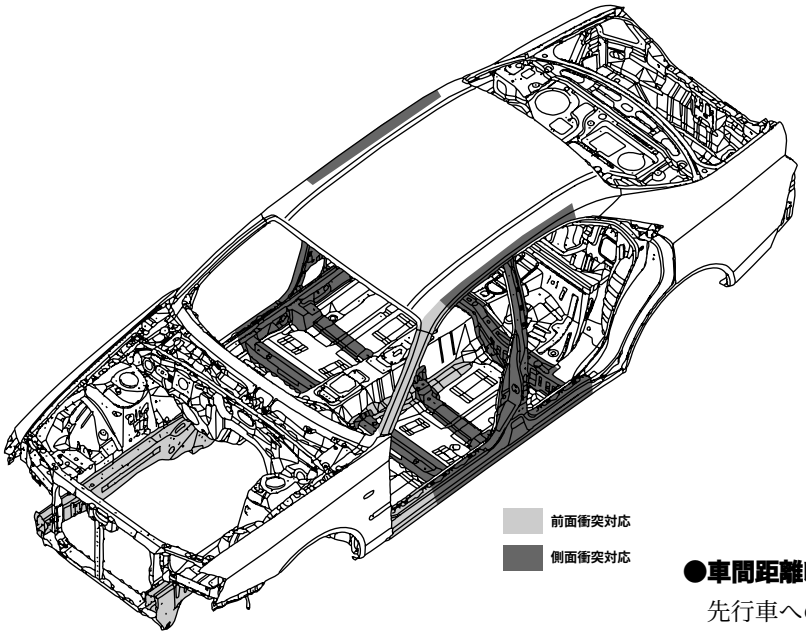
日産では、ゾーンボディ　コンセプト（クラッシャブルゾーンとセーフティゾーンの2つのゾーンで乗員を守るという考え方）に基づき、安全な車体づくりに取り組んでいます。

新型「セドリック」「グロリア」では、これを進化・発展させた世界トップレベルの衝突安全ボディ「ゾーンボディ」を採用しています。

この「ゾーンボディ」は、前面・後面の衝突時には、車体のクラッシャブルゾーンが衝突のエネルギーを吸収し、乗員への衝撃を緩和するとともに、セーフティゾーン（高強度キャビン）が生存空間をしっかりと確保します。また、側面衝突時には、サイドドアビームや衝撃吸収ドアが、補強されたボディサイドへ衝撃を分散して伝達することにより車体変形を抑えます。

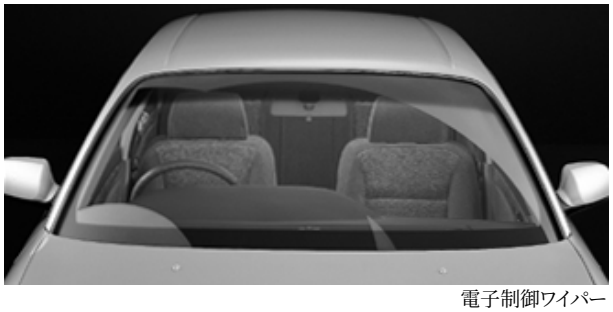
新型「セドリック」「グロリア」の開発にあたっては、フルラップ前面衝突（55km/h）、オフセット前面衝突（64km/h）をはじめ、側面衝突（55km/h）、後面衝突（56km/h）など、世界各国の基準およびこれを上回る様々な独自の厳しい試験を実施し、世界トップレベルの安全性を実現しています。

■ゾーンボディ



●電子制御ワイパー

雨天時の視界をよりクリアにするため、フロントワイパーに、従来型のワイパーに比べてピラー側払拭面積を拡大した、拭き残しの少ない電子制御ワイパーを採用しました。従来型で発生していたHiスピード時のワイパーブレードのオーバーラン（反転時の行き過ぎ）をなくし、Loスピード時、Hiスピード時ともに、ピラーぎりぎりまで払拭範囲を拡げました。



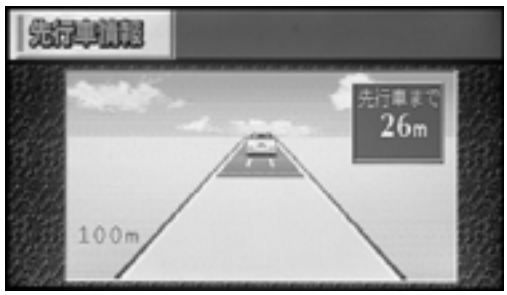
電子制御ワイパー

●車間距離レーダー

先行車への接近を知らせることで運転者の認知・判断を支援する車間距離レーダーを採用しました。

車両前部に取り付けたレーザーレーダーセンサーにより、測定した先行車との距離が、自車速度や先行車速度などから演算される設定車間距離より短い場合に、メーター内のインジケーターとブザー音で報知をします（自車速度が30km/h以上で作動）。交通状況に応じ、車間距離レベルを3段階に切り替えることができます。

新型「セドリック」「グロリア」では、先行車を認識するアルゴリズムを改良し、認識性能を向上させるとともに、先行車との車間距離を液晶モニターに表示させることもできます。



車間距離レーダー（液晶モニター画面）

クルマのよろこびを。

NISSAN

日産自動車株式会社　広報部

〒104-8023東京都中央区銀座6-17-1

Tel.03(5565)2142